

事務事業評価表

○基礎情報

課名		病院経営企画課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	21	効果的・効率的に病院を経営する	小川 剛志	管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	3 人	0 人	0 人	0 人	4 人	851 時間	23.6 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
経常収支比率	90.70%	100.0%以上	91.8%	99.5%	100.9%
医業収支比率	87.1%	97.0%以上	89.7%	91.4%	81.9%
病床利用率	70.9%	83.0%以上	74.3%	75.1%	64.4%

(施策のねらい)

1	経営健全化による安定した病院経営
2	
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1							政策的事業 無し									
2																
合計					R2予算(円)	0										
					R2決算(円)	0										

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
令和2年度の施策指標は、「経常収支比率」は目標値を上回る結果となったが、「医業収支比率」及び「病床利用率」は目標値を下回る結果となった。「経常収支比率」が上昇した要因については、新型コロナウイルス感染症の対応において、国からの空床補償・病床確保に対する補助金約15億円を医業外収益として計上したためであり、病院の経営状況が改善されたと言い難いことは、「医業収支比率」が低下している状況を見れば明らかである。	
また、茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップに掲げた重要業績評価指標(KPI)については、「1人1日当たりの入院単価」、「1人1日当たりの外来単価」、「現金現在高」の3項目で達成した。単価上昇の主な要因としては、①医療機関別係数の上昇②軽症患者の減少③手術単価の上昇と分析している。また、現金現在高については、前述のとおり、国からの空床補償・病床確保に対する補助金が大きく寄与した。一方で、「1日平均入院患者数」、「1日平均外来患者数」の2項目については、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が減少し目標を達成することができなかった。	
今後は、茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップに基づき、引き続き収支改善に向けた取り組みを進めるとともに、市立病院の経営形態の見直しについては、茅ヶ崎市立病院在り方検討委員会の答申結果を踏まえて進めていく予定である。	
時間外勤務については、新型コロナウイルス感染症対応及び審議会の立ち上げ等の影響により年間を通して増加傾向にあるが、その縮減に努めていく。	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
-	-	政策的事業 無し
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	政策的事業 無し
-	-	-